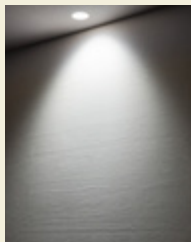


ダウンライト・間接照明のある空間は、特に施工に注意が必要です！

施工上のご注意点

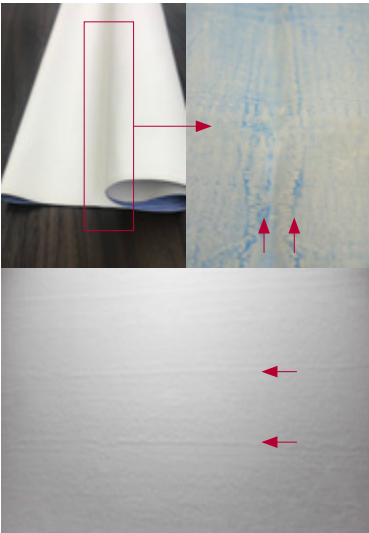
- 下地不陸に注意**
薄手、表面がフラット、表面の光沢や艶が高い商品は、特に下地の不陸（段差、パテ跡、釘跡、異物など）が目立つため、丁寧な下地作り（平滑性）が求められます。**塩ビシート同等（1級レベル）の下地が必要**となります。
- たたみじわ（折れジワ）に注意**
壁紙は糊付け後たたみじわが付かないように**重ねず、縦置きし、60分以内**に施工することをおすすめします。一旦付いた折れジワは、施工時に伸ばしても残る場合があります。特に濃色やフィルム品はシワが目立つため細心の注意が必要です。
- 施工糊のなき分かれやスジ跡に注意**
糊だまりが残らないように**施工は60分以内で行い、必ずプラスチック製のハケ（スムーサー等）もしくはローラーを用いて、丁寧に**してください。糊が固くなると取れなくなるため注意が必要です。特に照明環境が厳しいところでは、**本設照明と同等の照明を当てながら**糊だまりなどスジが残っていないか**必ず確認**が必要です。
- 照明の当て方に注意**
照明の種類や設置位置・当て方などで不陸の見え方は変わります。特にスポットライトのような強い光を使った**特殊な環境下では、不陸を完全になくすことができない場合もあります。**

※通常の施工に比べ下地調整に時間が掛かるため、施工費は割増しとなります。施工関係者への事前確認（商品特性・照明計画）をお願いします。

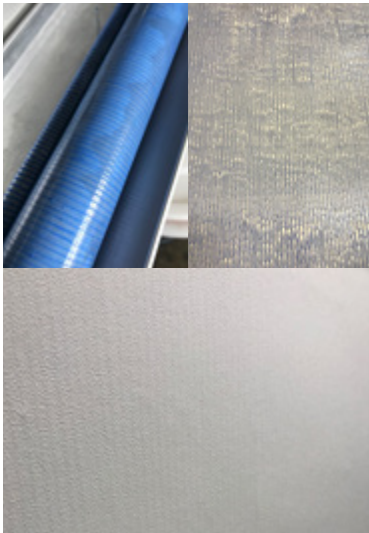


ダウンライト環境下でおこる不具合事例

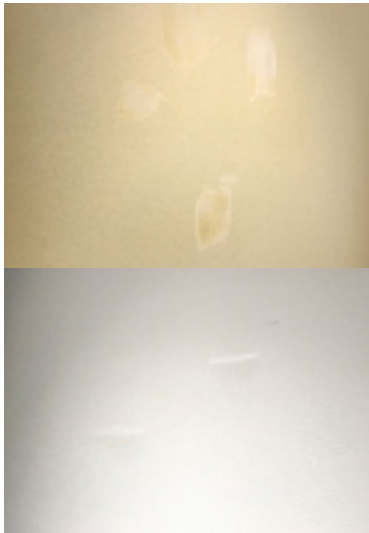
通常の照明では気にならない凹凸もダウンライト下では目立つ場合があります。



①糊のなき分かれによる糊だまりスジ
※視認性の為に糊を青色に着色しています。



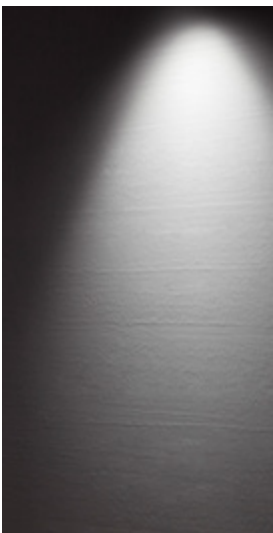
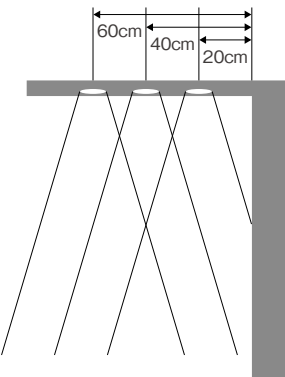
②糊付け機のローラーズジ跡
※視認性の為に糊を青色に着色しています。



③加飾光源による下地の目立ち

ダウンライトと壁面の位置関係による不陸の出方

一般的には、ダウンライトと壁面との距離が離れるほど、不陸が目立たなくなる傾向があります。



壁面から20cm



壁面から40cm



壁面から60cm